

# ユニセフ年次報告 2015





# ユニセフ年次報告 2015

## 目次



02

事務局長からのメッセージ



04

はじめに



08

1. 人道支援



18

2. プログラムの優先事項



36

3. パートナーシップ、アドボカシー  
(政策提言)、イノベーション  
(技術革新)



44

4. 財政管理とアカウンタビリティ

## 事務局長からのメッセージ

ユニセフ（国連児童基金）は、第二次世界大戦で命の危機に瀕した子どもたちに人道支援を行う目的で設立された国際機関です。設立当初から、公平性を理念に掲げ活動を行ってきました。

子どもたちの国籍やその国が戦争でどんな役割を果たしたかは問題ではありません。重要なのは、最も困難で危険な状況に置かれた子どもたちに支援を届けることでした。

支援の際には、子どもたちがどこに住んでいるかや生まれ育った家庭、といった子どもたちを取り巻く状況は関係ないのです。

この公平性の原則は、今日においてもユニセフの活動の指針となっています。ユニセフは2015年、世界中の子どもたちの権利を守り、すべての子どもたちに健康・福祉と公平な機会を提供すべく、これまで以上に尽力しました。特に、公平な機会から最も遠くにいる子どもたちへの支援に重点的に取り組みました。

例えば、遠くはなれた農村部や都会のスラムに住む貧困層の子ども、紛争や自然災害の影響を受けた子ども、ジェンダーや民族的帰属、障がいなど、出自や居住地を理由に排斥され支援から取り残されている子どもたちです。

支援はこれまで以上に困難なものでした。というのも2015年、何百万もの子どもたちが公平性とは程遠い状況を強いられていたからです。

ウクライナやシリア、南スーダン、中央アフリカ共和国、サヘル地域一帯、イエメンやイラクなど、さまざまな国で何百万もの子どもたちが武力紛争の脅威にさらされました。紛争の長期化やさまざまな危機が、ここ70年近くで最大規模の難民や移民の子どもたちを生み、その命や未来を脅かしています。

気候変動の影響も深刻です。病気の蔓延や、食料源や生活を破壊する干ば



©UNICEF/UNI180916/INesbitt

つや洪水が、何百万もの子どもたちを危険な状態へと追いやっています。そして、絶望的な貧困と保健・教育・保護において広がる格差が、子どもたちの生活と未来を打ち砕いています。

この年次報告では、2015年に発生したこうした深刻な事例やユニセフとパートナー機関の取り組み、支援を受けた子どもたちの希望溢れるストーリーをご紹介します。

イエメンのファティマは、紛争によって隔離された地域に住んでいました。「レスキューカー」として知られる移動保健チームが村に到着し、仮設診療所を設置して子どもたちに栄養治療食を与えるまで、重度の栄養不良に苦しんでいました。

エボラ出血熱で家族を失くしたシエラレオネのジャリアトゥ。生活立て直しを支援する現金給付プログラムを通じ、現在はエボラ出血熱から回復した若者に養育を受けています。

ミャンマー・ラカイン州のトゥー・ザー・モー。コミュニティ間の紛争でいったんは教育の機会を奪われました。しかし現在は、避難民の子どもたちのためのセンターで学んでいます。

スワジランドでHIVと共に生きる十代の少年、マソジャ。健康状態が悪化し、将来にも希望が見いだせない状況にありました。しかし、病院に設置された青少年のためのクラブに参加するようになり、HIVとどう向かうべきか、互いに助け合うことがいかに重要かを学びました。

宗教も民族も異なるイラクの二人の少年ハレドとジョラル。避難民の子どもたちと現地の若者との交流を促進して和解を図るプログラムを通じて、急速に親交を深めました。

こうした子どもたちや同じような境遇に置かれた多くの子どもたちに支援を届けることは、正しく公平なことです。支援は公平性の観点からだけでなく、より安定した平和な社会を築き、繁栄を実現する上でも欠かせないもの

です。なぜなら、十分な栄養を摂取し、保育や基礎的保健サービス、教育を受け、暴力・搾取から守られた公正な環境で育った子どもたちは、成人してから潜在的能力を發揮し、あらゆる意味で社会を豊かにする可能性が高いからです。

2015年9月、「誰も置き去りにしない」ことを掲げた持続可能な開発目標（SDGs）が採択され、社会基盤を強化するには公平性を拡充していくことが重要である、と国際社会に認知されました。

このコミットメントを具体的なアクションに変えるべく、ユニセフはすでにパートナーと取り組み始めています。こうした活動はすべて、支援者の方の寛大な支援なしには成り立ちません。皆さまのご支援に心から感謝するとともに、そのお気持ちに応えるためにも、託された資金を最大限効率的に活用することで、最も困難で危険な状況に置かれた子どもたちの生活改善に最大の効果を上げてまいります。

希望が打ち碎かれるような状況にあっても、絶望に立ち向かい改善していくことは可能です。

子どもたちの未来のため。

すべての子どもたちの未来を守ることが、ユニセフの使命です。



アンソニー・レーク  
ユニセフ事務局長

“ユニセフは2015年、世界中の子どもたちの権利を守り、すべての子どもたちに健康・福祉と公平な機会を提供すべく、これまで以上に尽力しました。特に、公平な機会から最も遠くにいる子どもたちへの支援に重点的に取り組みました。”

2ページ下：ニューヨークのユニセフ本部で開催されたイベントで女の子と話すアンソニー・レーク事務局長。

## はじめに

人生における公平な機会はすべての子どもに与えられるべきものです。子どもたちを置き去りにしないことは、道徳的な観点から重要であるだけでなく、インクルーシブな（誰もが受け入れられる）、持続可能で安定した社会を世界中で築くための優先課題でもあります。

ユニセフは2015年、世界中のパートナーと連携し、公平な機会の実現に取り組みました。

特に、2000年から2015年のミレニアム開発目標（MDGs）で見られた大きな前進の陰で取り残されている子どもたちに影響している根深い不公平な格差を是正し、すべての子どもたちに支援の手を差し伸べることを目指し、2015年はこれまでの実績を踏まえて新たな機会を提供しました。

2015年に国連加盟国193カ国によって新たに採択された持続可能な開発目標（SDGs）は、青少年期までの子どもたちの健康と福祉に特化した目標を掲げています。SDGsには、乳幼児期の子どもの発達、教育への普遍的アクセス、暴力・虐待・搾取からの青少年の保護といったターゲットのほか、子どもたちに対する有害な慣習の撤廃、出生登録による法的身元証明の促進といったターゲットも含まれます。

ユニセフは、子どものための機関の連合体、子どもへの暴力に関する事務総長特別代表、その他の国連機関・加盟国と共に、世界の開発アジェンダに従来組み込まれてこなかった子どもの保護に関するターゲットも含めるよう積極的に提唱しました。

右上：シリアから逃れ、クロアチアの「子どもにやさしい空間」で遊ぶ7歳のヤナトさん。

### CHILDREN AND YOUTH IN FOCUS

セルビア：難民・移民の子どもたちへの越冬支援



© UNICEF/UN05622/Gilbertson VII Photo

気温が急速に低下する中、中東の紛争地域から安全とより良い生活を求めてヨーロッパに向かう家族が後を絶たないことから、2015年12月、ユニセフはパートナーと共に、避難する移民や難民の家族と子どもたちへの緊急支援を行いました。

クロアチアとセルビアとの国境沿いにあるシド駅。貸し切りバスが並び、乗客が降りてきます。人々は零度をわずかに上回る気温の中、警察の書類確認のために列をなしています。幼い子どもたちにとって、この寒さはとりわけ過酷です。乳児より少し上くらいの男の子が靴を片方だけ履いて地面に座っていました。もう片方は裸足のままでした。

この難民・移民危機を受けて、EUの人道援助・市民保護総局は、セルビアを経由してマケドニア旧ユーゴスラビア共和国を目指す子どもたちを悪天候と困窮状態から守るため、200万ユーロの資金援助を行いました。

これにより、幼児と子どもたちに年齢に応じた食料や衣服、靴、毛布などの冬の必需品を調達することができました。ユニセフはパートナーと共に、資金の一部で「子どもにやさしい空間」を設置し、子どもたちが冬の間、温かく、濡れない場所でくつろいだり遊んだり、母親が人目を気にすることなく授乳できる安全なスペースを提供しました。

新しいグローバル目標のSDGsでは、母子保健ケア、十分な栄養、安全な飲み水、出生登録、質の高い教育、その他必要なサービスへのアクセスにおいて公平性を推進することが必要不可欠であると認識されています。SDGsを採択することによって、各国政府は、「誰も置き去りにしない」「最も取り残された子どもたちから支援を届ける努力をする」という誓約を立てました。このアプローチは、最も貧しく社会から取り残された子どもたちと家族のための支援を加速させなければ持続可能な開発は達成できない、というユニセフの考えを反映しています。

より公平な世界を希求し、ユニセフは2015年、依然として対応が必要な課題と新たな課題の両面への対策を強化しました。

特に、ヨーロッパへの移民・難民の大量流入は、出身国、経由国、目的国

など、あらゆる背景の中で移り変わっていく子どもたちの状況に素早く対処する必要性、それぞれの段階で子どもたちの最善の利益を守る必要性を浮き彫りにしました。今回、この危機は高所得国の「背後」にまで迫りました。

ユニセフはまた、最も困難な状況にある子どもたちや遠隔地にいる子どもたちの保健、栄養、水と衛生、教育、保護に関する基礎的ニーズを満たす新たな方法を模索しました。具体的には、国レベルで新たな解決法を試行すると共に、若者の生活を向上し、支援が届いていない人々に支援を届ける手段を普及・拡大するため、「グローバルイノベーションセンター」および「イノベーション基金」を創設しました。

人道支援に関しては、ユニセフはパートナーと共に、イラク、南スーダン、シリア、イエメンの重大な危機、ラテンアメリカや西アフリカの保健上

“より公平な世界を希求し、ユニセフは2015年、依然として対応が必要な課題と新たな課題の両面への対策を強化しました。”

下：ボリビア、トトレンダ村の共同水場で水を汲むグアラニ族の家族。



© UNICEF/UN1189314/Gilbertson VII Photo

## PROGRAM IN FOCUS

### 国連：子どもや若者にグローバル目標への関心を

持続可能な開発目標（SDGs）が採択された2015年9月の国連総会に向けて、ユニセフは子どもを中心とした市民社会団体と提携し、子ども向けのグローバル目標を作ると共に、より良い世界へのビジョンや新たなアジェンダについて子どもたちと協議を進めました。この取り組みには、チャイルド・ファンド・アライアンス、ラテンアメリカ・カリブ海における子どものためのグローバル運動、プラン・インターナショナル、セーブ・ザ・チルドレン、SOS子どもの村、ワールド・ビジョンなどの団体が参加しました。

子ども向けブックレット『私たちが目指す世界：子どものための「持続可能な開発目標」～2030年までの17のグローバル目標～』は、加盟国から高い評価を得て、グローバル目標を教育現場に伝える国際的イニシアティブ「World's Largest Lesson」の主要教材ともなっています。

この取り組みの対象となった子どもの数は、160カ国以上で推定5億人に達しました。

の緊急事態、ネパールでの地震による甚大な被害、太平洋の台風、サヘル地域や東アフリカ、アメリカ大陸における干ばつなど、さまざまな危機に対応しました。特に、短期的な人道支援と長期的な開発事業の境をなくして、必要なサービスを提供する体制を強化することに重点的に取り組みました。例えばユニセフは、災害の予測や災害発生時のレジリエンス（柔軟かつ強靱な回復力）の構築に向けたコミュニティ支援を行っています。

2015年、公平性と持続可能な開発を妨げる一連の障害を取り除くために進めた活動がもう一つあります。それは、女の子や若い女性がその能力を十分に開花させるのに障壁となっている問題を取り除くことです。ユニセフの「ジェンダー行動計画2014～2017年」は、ジェンダーに基づく不公平性に対処する枠組みを示しています。本計画は、すべてのプログラムにおいてジェンダー主流化を図ると共に、青少年保健の改善、女子の中等教育の推進、児童婚の撲滅、緊急時におけるジェンダーに基づく暴力への対処に重点を置いています。またユニセフは、SDGsに最終的に選ばれたターゲットに関連し、ジェンダー問題の認知度向上に寄与しました。

ユニセフが2015年に達成した成果のほとんどは、政府や市民社会、非政府組織（NGO）、財団、民間部門、他の国連機関、現地コミュニティ、そして子どもたちや若者たち自身を含むパートナーとの緊密な協力がなければ成し得ませんでした。34の国と地域に設置されたユニセフ協会（国内委員会）も世界中の子どもの権利を代表する重要なパートナーです。

ユニセフは、資金を提供していただくパートナーの寛容と献身に支えられています。そうしたパートナーの方々がいなければ、子どものために事業を展開し成果を上げることはできません。2015年のユニセフの収入は、各国政府の拠出金と、全体に対しての割合が増加している民間からのご寄付によって成り立っています。

SDGsで示されたコミットメントと2015年に合意されたその他の国際協定は、世界中に新たな希望を与えました。それと共に、すべての子どもたちのためにコミットメントを現場で実現するユニセフとパートナーの責任もさらに大きなものとなりました。本書は、厳しかったこの1年にユニセフが行った取り組みに焦点を当てています。

## ユニセフの支出総計（2015年） （単位：百万米ドル）

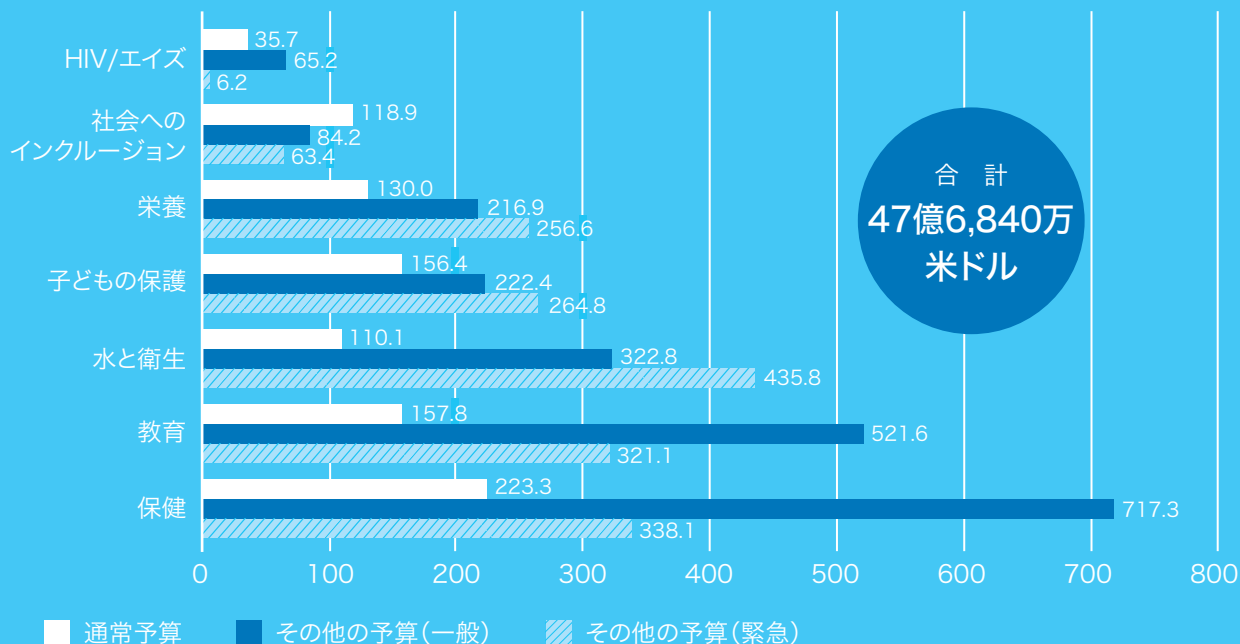
支出区分	
開発支援事業費	\$4,675
プログラム費	\$4,546
実効性向上事業費	\$129
管理・運営費	\$312
国連の開発支援事業に関わる連携調整費	\$6
特別な支出（設備投資を含む）	\$22
その他（民間部門との連携とパートナーシップを含む）	\$97
総支出	\$5,112

注：この表の区分別の支出は、修正現金主義に基づいて示されており、2015年に作成された現金支出や発注などの内部義務文書を反映している。



## 成果分野別の事業支出割合(2015年)

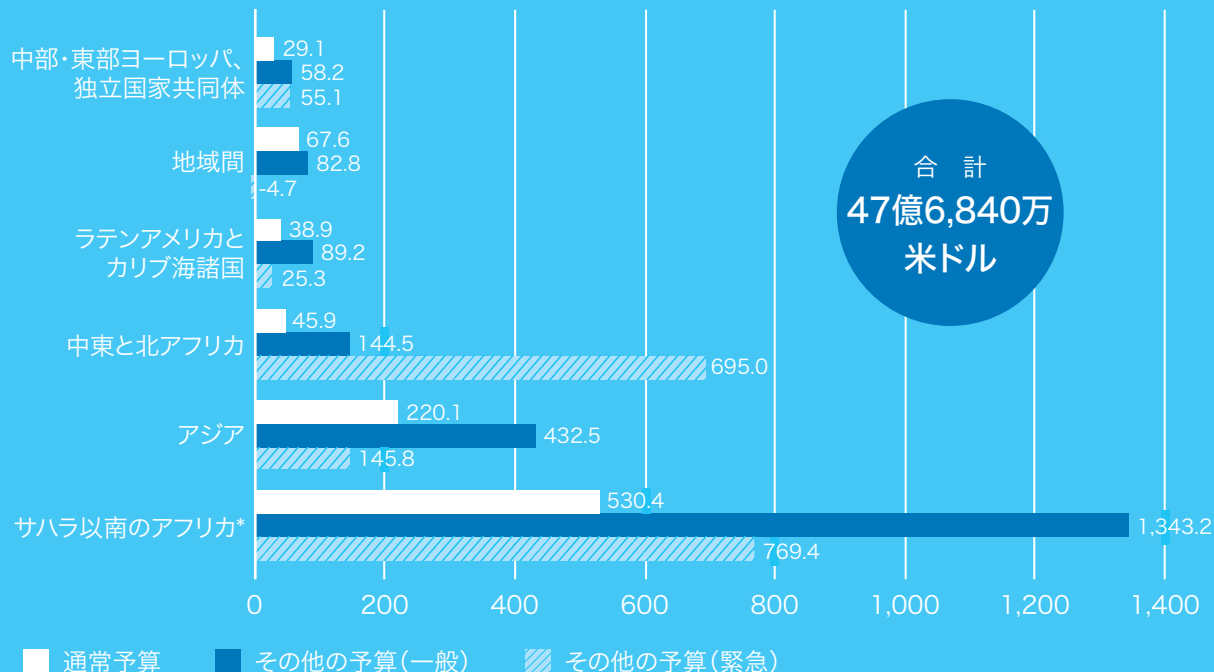
(単位:百万米ドル)



注:四捨五入のため、合計額は必ずしも一致しない。

## 地域別の事業支出割合(2015年)

(単位:百万米ドル)



\*ジブチとスーダンへの事業支出は「サハラ以南のアフリカ」に含まれる。

注:四捨五入のため、合計額は必ずしも一致しない。